

IOLMaster®700 による白内障手術の術前術後評価の検討

1. 研究の対象

2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日に岩手医科大学附属病院眼科で
白内障手術を受けた方のうち術前に IOLMaster®700 での検査を行った方
予定症例数：1000 件

2. 研究期間

研究実施許可後～2026 年 3 月 31 日まで

3. 研究目的・方法

白内障とは、水晶体と呼ばれる眼の中のレンズが加齢などによって濁り、視力が低下する疾患です。現在、白内障に対する一般的な治療として白内障手術があります。

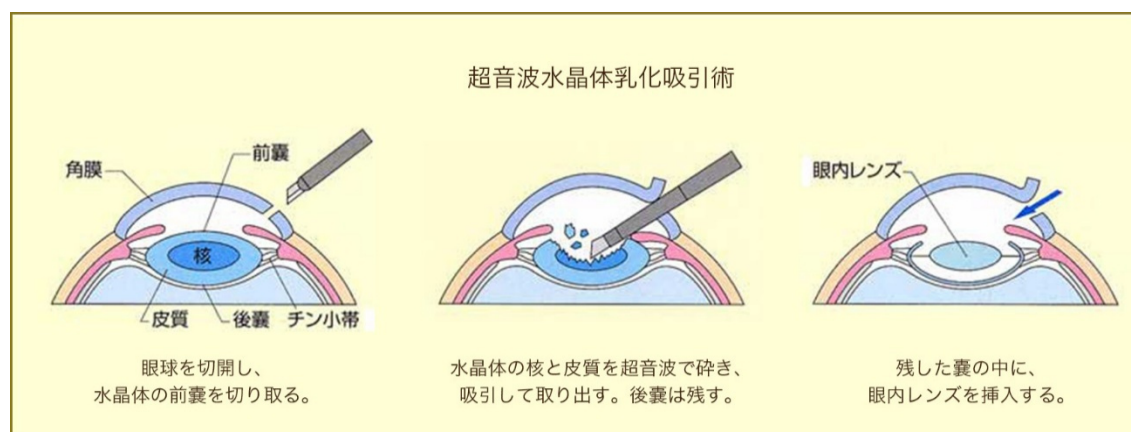
白内障手術を行う際、使用する眼内レンズの度数決定にあたって必要な眼の長さを測る装置の一つに IOLMaster®700 という機器があり、IOLMaster®700 では眼全体の長さの他、水晶体の厚みを測定可能です。

白内障手術の一般的な手術は下記にある超音波水晶体乳化吸引術です。手術中稀に、後嚢が破れてしまうことがあります。その際は、眼内レンズを眼に縫いつける工程が増えます。これにより手術時間が長くなります。

本研究では過去に手術を行った患者さんのデータを調査することにより、手術前に白内障手術の難易度を予測できるか検討することを目的としています。

診療録から、年齢、性別、病歴、IOLMaster®700 の検査データ、術前の視力を収集します。これらのデータを用いて統計解析を行います。

研究成果は、2025 年度に開催される日本臨床眼科学会総会や学会誌などに公表する予定です。



<https://www.hikichi-eye.jp/blog/194>

4. 研究に用いる試料・情報

情報：病歴、IOLMaster®700 の検査データ（眼の長さ、水晶体の厚みなど）、術前視力、術後視力 等

本研究で取得した上記の試料・情報は、研究終了後 5 年間または結果公表日から 3 年間、いずれか遅い日まで保管し、保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

研究は眼科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学眼科学講座 磯 雅知

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

TEL：019-613-7111（内線 6582）

研究責任者：岩手医科大学医学部眼科学講座 黒坂 大次郎

-----以上